



らいは

学校教育目標

- 進んで学び、よく考える子
- 思いやりのある子
- 元気にやりぬく子



らいはっぴー

「地域とともにつくる学校」

校長 三田 秀典

今回は6月号で紹介した「学校運営協議会」のその後の活動についてお知らせします。今年度から、すべての加須市立小・中学校がコミュニティ・スクールとなりました。コミュニティ・スクールとは学校運営協議会を設置した学校のことです。学校運営協議会は、地域住民・保護者・教員の代表者で構成されています。この協議会では、「その学校で育てたい子ども像」を共有し、その実現のために何ができるか等について議論し、学校側に提言していく組織です。協議会の提言を学校運営に反映させていくことで、学校づくりに地域の声を積極的に生かし、地域とともに学校づくりを進めていこうとするものです。

本校ではこれまで2回の学校運営協議会を開催し、提言を学校づくりに生かしています。

○第1回学校運営協議会 令和7年4月30日(水)

協議題「礼羽小の子どもたちに身につけてもらいたいこと」

協議会の提言 ①あいさつができること ②自他を大切にできること

○第1回の学校運営協議会を受けて

学校では年度当初から「あいさつ」を学校づくりの重点にしていました。協議会からも、あいさつができる子どもに育ててほしいとの提言をいただきましたので、学校では次の具体策を考え、1学期から取組を進めてきました。

- ・各学級であいさつの大切さやその意義を指導する
- ・生活目標にあいさつを位置づけ学校全体で取り組む
- ・定期的にあいさつ運動期間を設定し、定着を目指す



○第2回学校運営協議会 令和7年9月29日(月)

協議題「元気なあいさつを身につけさせるために学校・家庭・地域でできること」

協議会の提言 ①学校では教員が、家庭では保護者が、率先してあいさつをし、範を示すことが大切

②学校があいさつに力を入れて取り組んでいることを家庭や地域に知らせていくことが大切

③あいさつができたなら、家庭でも地域でも子どもを積極的にほめることが大切

④学校にあわせて、家庭や地域でもあいさつ運動に取り組むことができるとよい

今後、学校では第2回学校運営協議会の提言を吟味し、あいさつがしっかりとできる子どもの育成を目指し、さらなる取組を進めてまいります。家庭や地域の皆様にもご協力いただくこともあろうかと思ひます。その際にご協力いただきますようお願いいたします。

<礼羽小学校学校運営協議会委員一覧>

会長	難波 雅子	社会福祉協議会支部長
副会長	加藤 淳二	礼羽小学校PTA会長
委員	佐藤 任司	区長代表
委員	篠原 美鈴	民生委員
委員	岡戸 稔	ふれあい推進長
委員	潮田 暁広	愛の泉施設長
委員	高橋 洋子	元礼羽地区教育後援会長
委員	栗田 裕司	礼羽地区コミュニティセンター所長
委員	坂村 乃史代	礼羽幼稚園長
委員	三田 秀典	礼羽小学校長



3年社会科見学

3年生 社会科見学へ！3年生が社会科見学に行ってきました！訪問したのは、加須デンソーワイパシステムズ、トモエ乳業、環境科学国際センターの3か所です。

ワイパーの工場では、たくさんの方が協力して製品を作っている様子を見学し、牛乳・乳製品の工場では、徹底した衛生管理のもとでの製造工程を学びました。また、環境科学国際センターでは、私たちの生活と環境問題のつながりについて考えることができました。



どの施設でも熱心にメモを取ったり、質問したりする姿が見られ、実り多い一日となりました。

給食試食会

先日、PTA役員の方々にご協力いただき、「給食試食会」を開催し、約30名の保護者にご参加いただきました。

栄養教諭からは、学校給食が単なる栄養補給ではなく、目標をもった教育であることについて説明がありました。

また、給食センターでの調理動画を見て、機械化はされながらも、多くの調理が手作業で行われていることに驚きの声が上がりました。大量調理の難しさや、安全・安心な給食を支える調理員さんたちに、感謝の気持ちを新たにしました。

服のチカラプロジェクトご協力のお願い

4年生は、総合的な学習の時間に「服のチカラプロジェクト」に取り組みます。これは、世界中の難民や被災地の方々へ、まだ着られる服を届ける国際貢献の学習です。

つきましては、回収にご協力をお願いいたします。

【回収対象】きれいな子ども服（乳幼児～小学生サイズ）

【回収期間】10月27日（月）～11月16日（日）

【回収場所】礼羽小学校（各児童玄関のBOX）、愛泉幼稚園

礼羽コミュニティセンター、礼羽幼稚園

ヤオコー（加須店）

※店舗により回収期間が異なります。

詳細は、子どもたちが作成したチラシをご覧ください。